

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 7 日 (2019.11.7)

【公開番号】特開 2017-153364 (P2017-153364A)

【公開日】平成 29 年 8 月 31 日 (2017.8.31)

【年通号数】公開・登録公報 2017-033

【出願番号】特願 2017-95667 (P2017-95667)

【国際特許分類】

H 0 2 G 3/22 (2006.01)

H 0 2 G 1/06 (2006.01)

F 1 6 L 5/04 (2006.01)

F 1 6 L 5/02 (2006.01)

E 0 4 B 1/94 (2006.01)

A 6 2 C 3/16 (2006.01)

【 F I 】

H 0 2 G 3/22

H 0 2 G 1/06

F 1 6 L 5/04

F 1 6 L 5/02 D

F 1 6 L 5/02 N

E 0 4 B 1/94 F

A 6 2 C 3/16 B

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 25 日 (2019.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

建築物の区画体に形成された貫通孔に挿入される筒状のスリーブ部材と、  
柔軟性を有する閉塞部材と、を備え、

前記閉塞部材が前記スリーブ部材に対して周方向に沿って重ねて配置されているとともに、前記スリーブ部材の軸方向の一端にて前記スリーブ部材と前記閉塞部材とが一体化されており、

前記閉塞部材の周方向の長さが前記スリーブ部材の周方向の長さよりも長く、前記閉塞部材の周方向の両端部が互いに重複可能となっている貫通孔措置ユニット。

【請求項 2】

前記スリーブ部材が、軸方向における前記閉塞部材と一体化されている方の一体化端部の外面に、当該一体化端部の端縁側に向かうに従って次第に縮径するテーパ面を有する請求項 1 に記載の貫通孔措置ユニット。

【請求項 3】

前記閉塞部材の軸方向の長さが前記スリーブ部材の軸方向の長さよりも長く、前記閉塞部材における前記スリーブ部材と一体化されていない方の開放側端部が、前記スリーブ部材における前記閉塞部材と一体化されていない方の開放側端部から突出している請求項 1 又は 2 に記載の貫通孔措置ユニット。

【請求項 4】

前記スリーブ部材に対して当該スリーブ部材の前記開放側端部側から内挿されるガイド部材をさらに備え、

前記閉塞部材の前記開放側端部にて前記ガイド部材と前記閉塞部材とが一体化されている請求項 3 に記載の貫通孔措置ユニット。

【請求項 5】

前記閉塞部材が、柔軟性を有する袋体と当該袋体の内部に封入されたペースト状の充填材とを含むバック部材である請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の貫通孔措置ユニット。

【請求項 6】

前記閉塞部材が、可撓性を有するシート状部材である請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の貫通孔措置ユニット。

【請求項 7】

前記シート状部材における前記スリーブ部材と一体化されていない方の開放側端部に、軸方向に沿うスリットが設けられている請求項 6 に記載の貫通孔措置ユニット。

【請求項 8】

前記スリットが、前記開放側端部に向かうに従って周方向幅が次第に広くなる V 字状に形成されている請求項 7 に記載の貫通孔措置ユニット。